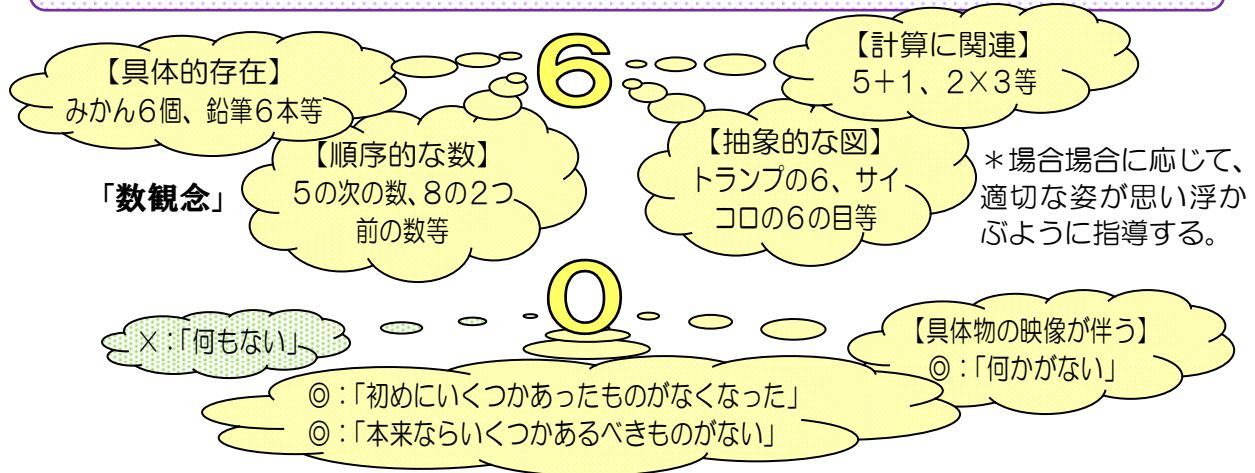


「数と計算」領域の基礎基本

1 数に対する認識を深める

★ 整数の概念、命数法、記数法、分数や小数の概念と表現、計算に関連した性質、大小順序の関係などのイメージを豊かにすること。



2 今後、計算指導で必要な3つの内容

- ①電卓にかけるまでもない卑近な計算
- ②数についての判断や、計算の結果についての見通し
- ③数の性質や演算の意味と計算のしくみ

3 計算の工夫で必要な指導

0、1、10、100・・・を作ろうとする意識や感覚を高めること。

例： $25 \times 36 = 25 \times (4 \times 9)$
 $= (25 \times 4) \times 9$
 $= 100 \times 9$

【生活の中の(半端な)数の根拠を問う】

★小学校のプールは、何故25m?
 (水泳大会の種目は、50、100、200…)

この学習材に出合わせた後に、 $25 \times 4 = 100$ という関係に気づかせるための支援を行うよりも、出合わせる前の日常から、意識して素地づくりをしておくことが、豊かなイメージづくりに効果的である。

「1回転の角は100という数でなく、なぜ360？」も同様に・・・

例： $99 \times 53 = (100 - 1) \times 53$
 $= 100 \times 53 - 1 \times 53$
 $= 5300 - 53$

【合理的な数への欲求を持たせる】

★「計算が面倒。100だったら良いのに…」

小数や分数の計算においても、「整数(1)だったら良いのに…」という意識にさせる指導が必要である。さらに、上学年で学習する複合図形の求積のアイデア(L字型を補充・引き去りで求積)と関連させることが重要となる。